

ジャパン ウェルネス通信

The Wellness Community Tokyo Report

NO. 2

2002年春 第2号

特定非営利活動法人(NPO)

ジャパン ウェルネス

ジャパン・ウェルネス 設立一周年を迎えて



ジャパン・ウェルネス理事長
竹中文良

私どもが二〇〇一年五月初旬、米国のがん患者支援組織「The Wellness Community (TWC)」を日本へ導入・展開してほぼ一年が経過しました。この間、その趣旨に賛同して御協賛いただきました三共グループ、製薬協の各社、営団関連各社の皆様をはじめ多くの法人、個人の皆様から感謝を捧げます。皆様のおかげでジャパン・ウェルネスも無事一年目を迎え多くのがん患者さんのニーズに答える事が出来ました。ありがとうございました。

センターをはじめ様々な医療機関で加療中の人たちです。半年前に開設したホームページのアクセス数は二万人を超え、この面でのがん患者・家族のニーズが極めて高いことを痛感させられます。

二一世紀に入り、医療はいま大きな変わり目にきております。二〇世紀後半、めざましい医学の進歩の陰で、「こころへの対応」を置き忘れてきた事が原因だと思われれます。

この数年、国民の医療知識水準の上昇や情報公開が進み、従来の「おまかせ医療」や無批判に医師の選択を受け入れる風潮は急速に消退してきています。この流れは、治療する医療者側にも、患者側にも変化を求めています。両者がお互いに敬意をもちて交流することが、患者の病氣回復の能力を強化します。その為には患者自身のもつ肉体的・精神的回復力を充分に利用することが大切なのです。

又、「がん」の様に、肉体・精神両面の要素が強い病気では、患者自身もある程度は責任を負わなくてはなりません。具体的には治療に積極的に参加する態度が患者の免疫力を高め、自然治癒力を鼓舞します。しかし突然「がん」にかかり、医師と

患者が共同責任で治療法を選択すると言われても、そう簡単にその役割を果たせる人は多くありません。私共ジャパン・ウェルネスの目的は、このような状況で目標を見失いがちな人々に「同じ悩みを持つ仲間の話」を聞く「事からはじめていただきませ。そしてがん患者さんが陥りがちな社会心理的な問題(無用の孤立、絶望感、主体性の喪失)を解消し、勇気と希望をもって「がん」と向き合ってください。

ウェルネスのグループ療法やストレス・コントロールの手法が効果的なことは、米国の二〇年に及ぶウェルネス・コミュニティの活動が立証しています。そして皆様が「がん」の肉体的な影響から最大限に回復される事を目指しているのです。

最後に、このシステムのために、ボランティアとして協力いただいている、多くの医師仲間、サポートグループの司会を担当してくださる先生方、様々な作業を引き受けてくださる皆様に心から感謝いたします。更に、施設を提供して下さっている弁護士の中先生、苦しい経理の面倒をみて下さる税理士の下川先生に深甚な謝意を捧げます。

特集 ジャパン・ウエルネス発足1周年

サポートグループの運営

同病者と語り合いたい その時に・・・

プログラムディレクター 奥原 秀盛

「光陰矢の如し」で、あっという間に一年が過ぎようとしています。この一年間、プログラムディレクターとして最も重要だと感じたのは、会員の皆さんの要望に応えるべく、時間・場所、そしてスタッフ（ファシリテーター）のスケジュール調整を行ない、いつでも参加できるサポートグループを作成、運営することです。

現在、サポートグループには、「短期型」「長期（継続）型」「月2の会」の3タイプがあります。「短期型」とは、同じ疾患の患者同士（一部疾患混合）のグループで、八回約二・五カ月間行なわれ、ずっと同一メンバーで行なう完全閉鎖グループです。「長期（継続）型」とは、「短期型」終了者を中心に月二回一年間継続的に行なうグループで、参加者数をみながら新しいメンバーを加える半閉鎖型グループです。「月2の会」とは、誰でもいつでも自由に参加できるグループで、文字通り月二回開催している完全開放型グループです。

それぞれ、次のような特徴があるように思います。「短期型」は、同一メンバーで集中的に行なわれるため、グループの凝集性が高く、同病者とじっくり語りあうという初めての経験をとおして本来の自分自身を取り戻すきっかけになっているように思います。「長期（継続）型」は、親しくな

った同士と継続的に会える機会を持ちたいという参加者の強い要望によりできました。「短期型」グループで、ある程度の落ち着きを取り戻したものの、長期の治療や通院を余儀なくされ、いつ再発・転移するか分からない、また様々な重大な選択を多々迫られる状況の中で気持ちは大きく揺れ動き、そんな時こそ同志の支えあいが重要なのです。「月2の会」は、様々な方と出会える場として機能しています。がんの部位を越え、生き方や生活の仕方などについて異なるメンバーと語り合うことで、新たな視点を得るきっかけになっているように思います。またご自分の都合の良い時だけ気軽に参加できるのも良いようです。

新聞やテレビでの紹介をご覧になって、求めて



患者さん同士がお互いの状況について話し合う

私たちが、三共のDNAを変えていく。



SANKYO

「健康」をつくる世界ブランドになるために。
三共は、マタも会社も変わります。

SANKYO 三共株式会社
www.sankyo.jp



スタッフから見たこの1年

いたのはこれだとすぐに参加なさった方、新聞記事を切抜き長期間迷ったあとに参加した方、精神的に混乱してさがるような思いで参加した方など、参加当初の状況は様々です。しかし、ジャパン・ウエルネスに電話した時、あるいは説明会に参加したその時が、正に何らかの支援あるいは同病者同士のつながりが必要としているという点では共通していると思います。正に必要としているその時に、いつでも参加できるようにサポートグループ運営が重要であると実感しています。

サポートグループの運営

“あるがままの自分”
を目指して

日本赤十字看護大学 遠藤 公久

昨年五月にジャパン・ウエルネスは立ち上げられました。私はそのときから参加させていたでいています。早いものですね、もう一年になるうとしています。竹中先生の知名度と、積極的な宣伝効果もあって、会員は四五〇名（賛助会員を除く）を超えたそうです。がん患者さんの数を考えたら、もちろんその数はほんの一部でしかありませんが、着実に我々の活動が浸透してきていることを感じさせられます。これも、多くの方のボランティア精神があつて初めて、ここまでやってこられたのだと痛感いたします。

私は、これまで消化器系、乳がん、そして家族のサポート・グループを担当させていただいて

ます。私のように、医学ではなく心理学を専攻してきた者が、患者さんやご家族のために一体何をどこまでやれるのか、いつも葛藤しながら取り組んでいます。

ところで、心理学というと、性格（パーソナリティ）研究というイメージも強いかと思いますが、最近の研究で、がんの発症や進行に比較的共同にみられる性格あるいはコーピング傾向（その人独自のストレスに対する対処の仕方）を「タイプC」と呼び、注目されてきています。その特徴として、例えば、我慢強かったり、自己主張しなかったり、特に怒りなどの否定的な感情を抑制したり、無力感や絶望感などに陥りやすかったりする傾向が挙げられています。つまり、皮肉なことに、善人ほどがんに罹患しやすく、進行を促進させてしまいうやすいようです（もちろん、性格だけで発症や進行を説明できるわけではありません）。

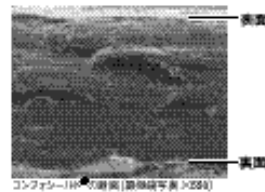
がんに罹ってしまったことはもう変えることはできません。しかし、その進行を抑えるためにもタイプC的な悪循環を断ち切る必要があるでしょう。もっと自由に、もっと積極的に、そしてもっと前向きにと。しかし、そのように自分を変えることはそんなに簡単なことではありません。ですから、せめてサポート・グループ内だけでも、善人という鎧を捨て、あるがままの自分でいられるようにできればいいし、我々ファミリーーターもそういうグループ雰囲気づくりを目指していきたいと思います。参加され、改善点や意見などありましたら、どしどし言って（主張して）いただけるとありがたいと思っています。

New Medical Device

医療技術の進歩に伴い、高バリア性とより低リント性の素材が求められてきています

より高度な医療環境への対応

この度、HOGYが導入したコンフォシールド®はフラッシュバンボンド製法で作られた、軽くて強靱、高バリア、低リントで柔軟性のある新素材！
ガウン、各種ドレープ、器械台カバー等の製品シリーズとして、安全でクリーンな電子線滅菌でHOGYがお届けします。



コンフォシールド®の断面（顕微鏡写真、×250）



メッセンガウン



全面ドレープ 眼科



全面ドレープ カリ検査



器械台カバー

●全面ドレープシリーズは、医療用具です。
許可番号06820133

株式会社 HOGY URL: <http://www.hogy.co.jp>
〒107-8615 東京都港区赤坂2-7-7 電話(03)6229-1300

®コンフォシールド®は、米国デュポン社の登録商標です。
®は(株)ホグメディカルの登録商標です。

セカンドオピニオンの運営

およそ一五〇人の患者さんと接して

医師 渥美 隆之

水曜日の相談を担当しています。ここ一年間におよそ一五〇人の方とお話をさせて頂いて相談者の迷いや不安等に触れ、毎週、身が引き締まる思いです。

相談の内容は、治療法の選択を迷っている、主治医や病院など医療者に対する不満、選択した治療法が妥当であると確認したい、の大きく三タイプに分けられる様です。

については、ほとんどの方がきちんとした治療を受けておられるし、主として知識の問題なので解決しやすいのですが、については、例えばがんの専門病院や大病院で、名医であるはずの主治医に健康管理を含め全身の問題を全て任せたいのに、そこだけしか見てくれない、といった心情の問題や誤解が背景にあり、なかなか納得していただけません。もちろん患者さんの気持ちはもつともで、また一方で専門病院の制度上の位置付け、医師の現状や気持ちも分かるだけに歩み寄りの難しさを実感します。一般病院と専門病院の協力関係、住み分けをもう少し分かりやすく患者さんに伝え、安心して一般病院にも主治医を持ち治療を受けられるようになると良いな、と思います。

がん治療も進歩したとはいえ、進行がんに対す

る治療の標準化はまだ難しいのが現状です。それでも敢えて標準的と思われるいくつかの治療の中から患者さんの人生観に合う、そして損をしない治療を納得して選択して頂けるように少しでもお手伝いが続けられればと思っています。

ボランティアとして参加

治療をしながらスタッフとして参加

亀井 尚子

幸運にも竹中先生に声を掛けていただいて、ウエルネスのボランティアに参加してもうすぐ一年が経つ。個人的には病気が進行を始め、治療中心の一年であったが、そんな中、ウエルネスの活動に参加できたことは、病気に心を奪われない為にも大変有意義なことであった。

治療をしながらのボランティアだったので、殆どは事務所に行っておしゃべり(邪魔?)をして帰ってくるだけだったが、主な仕事はウエルネスの説明会でサポートグループ経験者として話をすることである。

説明会には色々な方が、それぞれ不安や不満、病気に対する疑問を抱え、または前向きな道を求めて参加していらっしゃる。まず、竹中先生のウエルネス設立の理念などのお話、それから事務局の奥原さんのプログラムの紹介などに続いて、必ず参加者の方に自己紹介をお願いしている。初めての場であるにもかかわらず、名前や病歴にどど

まらず、不安な気持ちや日頃の思いを話して止まらない方が多いのを見てみると、本当に患者が気持ち話を話す場が少ないんだということを実感する。そして説明会はミニサポートグループのようになることもしばしばである。

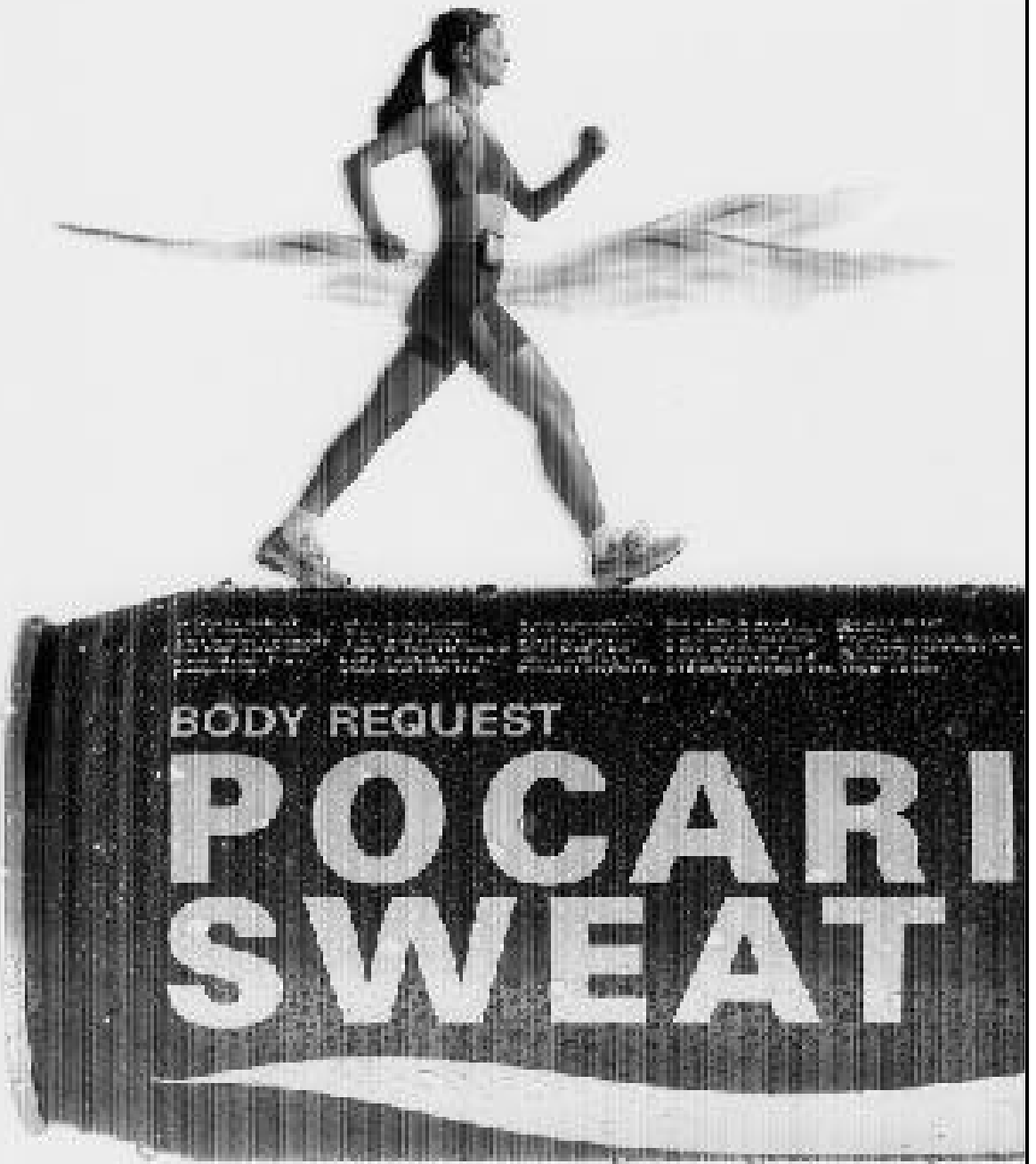
私は基本的に自分のグループ参加の感想を、飾らず述べればよいのであるが、説明会に参加する時にいつも気をつけていることがある。それは「すべては正しい」ということである。以前米国のウエルネスコミュニティの説明会に一度だけ参加させてもらったことがあるが、その時ボランティアの方が言った言葉だ。どんな前向きな姿勢もそのためのやり方も患者本人がいいと思えば、それはみんな正しいということだ。自分と病気に対する考え方や、対処の仕方が違ったとしてもそれはそれぞれの個性である。

皆さんの気持ちを出来るだけそのまま受け止めて、押し付けにならないようにしながら、私の経験や思いを伝えていければと毎回参加している。一時間少しの説明会であるが、時には暗かった表情が明るくなって帰られていく方もいらして、そんな方を見ると、本当にこのボランティアをしていてよかったと嬉しくなる。そんな皆さんから私は力を頂いてこの一年の闘病をがんばってこられたとも思う。

ウエルネスという場を通して、自分の持てる力に気づき、それぞれの前向きな人生を見つけていられる方が一人でも増えていってくれればと、願っている。そして微力ながらそのお手伝いが続けられればと思う。

大塚製薬

空気のように必要なもの。



ランニングや、手汗などで汗をかくと、水分が失われ、体が乾燥し、疲労がたまりやすくなります。こまめに水分を摂り、汗をよそいとり、塩分をとり補給を。そして、疲労のたまり始めた際には、何となく体がこたえてくるので、ぜひポカリスエットは、スポーツやアウトドアなど、夏の体質に強いアイテムです。汗で失った水分とイオンをすばやく補給します。

PART OF YOU

プログラム参加者の声

アロマテラピーの魅力

小柳 ゆみ子

家事や仕事に忙しくて、水曜日になるとソワソワする私。時間ができた日はあわてて家を飛び出します。ジャパン・ウエルネスのあるピルのエレベーターを八階で降りると、廊下までいい香り。そっとドアを開けると皆さん目を輝かせて何かを作っています。その日はハンドクリーム。好みのハーブオイルを垂らした無添加オリジナルクリームが、あつという間にできあがりしました。

先生は声も姿も美しいやさしい原田先生。子育てや仕事、病気への不安からついガサガサしてしまう心は一旦どこかに置いて、優雅でロマンティックなひとときを味わい、気持ちもすっきり！アロマテラピーは立派なひとつの代替療法とも言えるなあ、とつくづく思います。ハーブを使った紅茶や手芸も楽しめます。今年もアロマテラピーは私の大切な時間になりそうです。

竹中先生を囲んで温泉に入ってしまったら

佐藤

一月四日、五日、湯河原温泉への一泊旅行に参加し、夜、竹中先生の部屋に全員集合して「夢」を語り、楽しい時間を過ごしました。

新聞で、ジャパン・ウエルネスを知り、サポートグループ木曜日の会に参加し、同じ病気をした人たちの話を聞き、自分一人ではかかえていた悩みを打ち明け、心が少しずつ軽くなっていくのを感じました。



湯河原温泉「足の湯」にて

竹中先生と、会員の皆様との出逢いから、「元気」と「希望」を持つようになりました。メンバーの方々と温泉に入って、ゆったりとした気分になりながら、「今を大切に生きる」ということを実感いたしました。

企画をしてくださったスタッフの皆様ありがとうございました。またこのような機会がありましたら、参加したいと思っております。

「明日があるさ明日がある」パーティー

桑原 峰征

本会に入会して約二カ月後の一月、クリスマスパーティーに参加いたしました。ほとんどの方との面識がなく一抹の不安を抱えての参加でしたが、大変アットホームな雰囲気の中、すぐに溶け込むことができました。挨拶に立たれた理事長から、はじめは二、三〇名の参加者を予定していたのに八〇名に垂んとする参加者が集いますとお話あり。

日頃接している理事長を初め、スタッフの方々のお人柄、雰囲気作り、それに自分の人生に前向きにそして

ジャパン・ウエルネス 一年間の歩み

二〇〇一年

- 3月28日 第一回理事会開催
- 4月5日 事務局開設
- 5月7日 入会説明会開始(週一回)
- 5月11日 自律訓練法開始(週一回)
- 5月14日 サポート・グループ開始
- 5月17日 特定非営利活動法人(NPO)として認可
- 5月20日 ホームページ公開
- 5月29日 坐禅会開始(月二回)
- 6月6日 ハーブ・アロマテラピー開始(週一回)
- 6月20日 セカンド・オピニオン相談開始(週二回)
- 7月11日 正会員数一〇〇名
- 8月28日 30日 マスコミに多数掲載。事務局に問い合わせ殺到
- 9月3日 誰でも参加可能なサポートグループ(月2の会)スタート(毎月第1、3月曜)
- 9月5日 9月から12月末まで毎週の入会説明会に来訪者多数
- 9月14日 正会員二〇〇名に達する
- 9月22日 自己催眠法始まる(月一回)
- 10月8日 15日 スタッフ渡米。ウエルネス・コミュニティを訪問
- 10月2日 坐禅会参加者一〇〇人目を超える
- 11月4日 5日 秋の温泉旅行(伊豆二五名参加)

ひたむきに取り組んで参加されている会員の方々の顔ぶれからして、この予想を遥かに越えた大盛況はむべなるかなとの思いを強く抱いた次第です。

パーティーでは特に女性会員のパワーに脱帽です。それにしてもお忙しい中、会場・飲食・余興の手配、会員への連絡など楽しいひと時をアレンジして頂いた関係者の皆様には改めてお礼を申し上げます。最後に、仲間の輪を上げ世の中を少しでも明るくするような皆さん明日に向かって歩きましょう。

赤い毛糸

山口 優子

あの日から私の宝物に加えられた赤い毛糸と五円玉。両手に包みこむと、ふわふわと温かく、まるで天使の翼のような感じがする。

「みんなでクリスマス」を企画し、実行して下さったお一人、お一人の優しさ、温かさが私の心にしみとおり、目頭が熱くなった。ご馳走の数々、時が経つほどに和やかな雰囲気、明るい笑い声、ジャンケンポン、

赤い毛糸に五円玉のネックレスが勝った方の首に重ねられていく。ワツと歓声があがる。右を向き、左を向き、後ろを振り返る。みんなの活き活きしたお姿を目の当たりにした時、ぐっとこみあげてくるものがあった。竹中先生はじめ、多くの先生方、煩わしい事務を一手に引き受けてこなしてくださる方、事務所を無償で提供してくださる方、ボランティアの方々のご紹介があり、唯々感謝に尽きる。来年のクリスマス会にも参加できたらと、心から願った夜でした。

約束の赤い毛糸をポケットに。

素晴らしいき体内の機能

千石 整記

クリスマス会で初めてジャパン・ウエルネスを訪問し、六年ぶりに竹中先生と再会、積年の思いがかなった喜び満面の一日。

「運動、休養、栄養のバランスで心身の健康づくり」という会のコンセプトは私の思いとピッタリ符合して勇気百倍。

私は病で傷つけた身体から教えら

れたことがあります。十二指腸乳頭部が手術で胃の三分の二、十二指腸、膵頭部、胆のう等消化器中枢を失いましたが、全くトラブルがないこと。人は残された機能が、失った機能の分まで二〇〇%の超能力を出して働くからとわかり、そのすごさに感動いたしました。

この機能のけなげさに報いるために、私は毎日やっていることがあります。

1. 彼らがエネルギーを生み出すために必要な栄養を欠かさず供給すること。

2. 「生き甲斐を持って明るく生き続けるぞ」とのメッセージを送り続けること。





北村クリニック

院長 篠原幸夫・竹中文良

〒107-0052 港区赤坂3-12-5 共友ビル2階
Tel 03(3584)1475 Fax 03(3584)0181

内科（循環器・消化器）・外科
健康診断・人間ドック（集団検診等承ります）



赤坂見附駅
赤坂見附
青山通り
ジャパンウエルネス
北村クリニック

二〇〇二年

11月8日 正会員三〇〇名に達する

11月26日 ニュースレター「ジャパン・ウエルネス通信」第一号発行

12月5日 セカンド・オピニオン相談者が一〇〇人目を越える

12月7日 自律訓練法参加者が一〇〇人目を越える

12月11日 クリスマスパティー（七四名参加）

12月19日 ハーブ・アロマ・セラピー参加者一〇〇人目を越える

2月7日 正会員四〇〇名に達する

3月8日 会員の要望に応じて長期サポート・グループ開始

活動へのご支援ありがとうございます!!

・賛助会員加入のお願い・

あっという間の一年でした。すべて初めての経験で、試行錯誤しながらも、なんとかやってくることができたというのが実感です。そして、会員の皆さんに少しでも気分よく参加してもらえるよう、スタッフ一同、知恵を絞り、実行・改善、実行・改善そしてまた改善をしまいいりました。時間はかかりましたが、最近になってようやく会の運営がしっかりした『形』になりつつある状況だと思えます。しかし、現実の問題として、会の運営を皆さんの会費と心ある方々の寄付に頼る現状から、更なる展開や改善、そして新しい取り組みなどが、どうしても制約を受けてしまう状況です。今後は、この部分の問題解決に粉砕身努力していく覚悟がありますが、皆様のご支援もいた

だけでしたら、たいへん幸いです。事務局としては、さらに多くの患者の皆さんの心の一助になるべく、これからも全員で邁進していく覚悟です。どうか、これからの活動に、あらゆる部分で少なからずお力添えいただきますよう、お願い申し上げます。なお、昨年度の決算報告につきましては、ご希望がございましたらお送りいたしますので、お申し出ください。

(事務局長 中村 正)

会費金額

正会員	入会金2,000円	年会費5,000円
賛助会員(団体)	年1口5万円	
(個人)	年1口1万円	

賛助会員の皆様

2002年4月1日現在 / 50音順・敬称略

[団体]

菱精機(株)
(株)イデア・システムズ
宇都宮化成工業(株)
エフピー化工(株)
大塚製薬(株)
(株)科学技術研究所
(株)オズマピーアール
(株)京華商会
協和発酵工業(株)
ゴードー不動産(株)
(株)サイエンスフォーメーション

三共(株)

三共エール薬品(株)
(株)三共化学工業所
三共化成工業(株)
(株)三共グルリル
三共製袋(株)
(株)三共ファーマシー
三共有機合成(株)
参天製薬(株)
塩野義製薬(株)
(株)カカノルザール
武田薬品工業(株)

(財)地下鉄互助会

(株)地下鉄トクパ・サビス
(株)地下鉄ビルディング
(株)地下鉄メンテナンス
中外製薬(株)
共友ビル(株)
日本化薬(株)
日本乳化剤(株)
日本ビルサービス(株)
日本ベリガード・インク(株)
日本ロシュ(株)
藤沢薬品工業(株)

富士製粉(株)

北海三共(株)
三菱ウェルファーマ(株)
明治製菓(株)
目黒化工(株)
メトロ開発(株)
メトロ車両(株)
(株)メトロセルビス
(株)メトロサービス
(株)リテイ・インターナショナル

[個人](50音以上)

井川克一 田代朋子
大塚宣夫 千秋敏
奥寿夫 手塚ゆ起子
織田輝明 富中三郎
片山幸子 中川信幸
小嶋歳晴 那須征太郎
重藤信 萩尾みどり
篠原幸夫 濱田武子
西土真芳 福富海雲
高藤鉄雄 真砂岩夫
竹中諭 町村信孝
竹中馨

賛助会員(個人)の皆様

2002年4月1日現在 / 50音順・敬称略

青木智江 / 會澤克夫 / 青柳皓一 / 赤堀トヨ子 / 味八木保雄 / 安達晴雄 / 渥美隆之 / 阿部正和 / 雨宮多喜子 / 荒木洋二 / 有馬徹 / 有安ヨシカ / 安藤敏郎 / 池上康弘 / 池田彰一 / 石川征四郎 / 石黒和夫 / 磯山徹 / 一木正恵 / 一丸哲也 / 井手次郎 / 伊東悦久枝 / 伊藤利治 / 伊藤豊太郎 / 稲田美和 / 猪熊祥子 / 入江祐光 / 岩井弘子 / 岩池正暢 / 岩崎真有美 / 岩沢光子 / 岩本順絵 / 宇井博 / 牛島日出男 / 江戸屋小猫 / 恵原真知子 / 遠藤健 / 遠藤哲 / 遠藤保喜 / 大内周信 / 大木進 / 大澤政純 / 大野視甲子 / 大野善三 / 大場美代子 / 大和田晴彦 / 岡田一男 / 岡田しげ子 / 岡野正夫 / 岡本勇 / 栄子 / 奥地幹雄 / 小沢明彦 / 小田弥生 / 柏木多美男 / 柏原保久 / 片山佳之 / 加藤政弘 / 門田ひとみ / 金山賢司 / 亀井宏明 / 河正子 / 河合康明 / 川口美智子 / 河野文雄 / 河村秀穂 / 菊地臣一 / 菊池正彦 / 木曾勤 / 北村洋子 / 北村静子 / 北村フキ子 / グエン尚子 / 串哲也 / 久保倫生 / 黒川紀子 / 黒澤明子 / 黒田裕子 / 廣野達衛 / 小幡誠 / 小森谷孝子 / 近藤勝 / 斎藤育郎 / 斎藤たきえ / 齊藤富士男 / 斎藤道男 / 坂口功 / 坂田堯 / 桜井セツ子 / 桜瀬元久 / 定兼聡介 / 貞未哲也 / 佐藤嘉主弘 / 佐藤衣 / 佐藤私郎 / 澤海明人 / 椎名充夫 / 塩川ハツ子 / 志賀節 / 志賀利江 / 穴戸信次郎 / 紫竹芳郎 / 志波武次郎 / 志波智恵子 / 渋谷とし子 / 島田良興 / 清水高正 / 清水康雄 / 庄司郁央 / 白石安比古 / 新野宏 / 菅原恵子 / 杉浦稔 / 杉山徹 / 須郷馨 / 鈴木優 / 鈴木良彦 / 須永邦明 / 関谷雄孝 / 千名和子 / 仙波幸男 / 副田峰子 / 園田誠 / 代田治彦 / 高辻祥介 / 高根三夫 / 高野雅夫 / 高橋元 / 高橋寛 / 高松利明 / 高柳仁 / 高柳慶一 / 高良義雄 / 滝田栄 / 滝田知子 / 竹内達夫 / 武田晴雄 / 竹花忠 / 竹村一夫 / 竹村ひさ江 / 田代均 / 田中郁夫 / 田中慶 / 田中輝雄 / 田中俊也 / 田中マユミ / 田中義英 / 田之頭健 / 田野辺加代 / 玉井茂雄 / 多屋修一 / ちあき哲也 / 辻辰三郎 / 津田晴男 / 津田秀子 / 鶴田由加里 / 出口博哉 / 手塚博博 / 富岡啓二 / 富田慶二 / 富中暁 / 富中正平 / 富村義夫 / 外山衛 / 鳥居明郎 / 内藤忍 / 中井康之 / 中神百合子 / 長澤光一 / 中嶋基恵 / 永村弘志 / 中村浩彦 / 中村眞佐江 / 中本弘 / 那須孝太郎 / 名取代 / 錦織保 / 西村昭彦 / 新田邑太郎 / 根岸豊実 / 根本はる子 / 野沢よし子 / 芳賀一郎 / 長谷川公子 / 八幡浩二 / 濱中信一郎 / 原田加津子 / 一杉安廣 / 檜垣嘉輝 / 平岡哲夫 / 平野勝 / 平間敬文 / 平本規子 / 比留間和夫 / 比留間知子 / 福島美枝子 / 福田八重子 / 福留史朗 / 福本忍 / 藤倉國男 / 藤沢隆志 / 藤沢孝之 / 藤田紀良 / 藤富豊 / 古川隆 / 古澤道子 / 古畑善章 / 北條一穂 / 保坂正康 / 保坂義雄 / 星加哲郎 / 堀江峯吉 / 堀尾富士 / 蒔田己嘉 / 松浦京 / 松岡勇 / 松川和夫 / 松下宗嗣 / 松橋泰子 / 松本勝 / 三田恵美子 / 三井啓 / 南達さだ子 / 宮田親平 / 宮本倫好 / 向井良太 / 村上智恵子 / 村田歎吾 / 村田正昭 / 元木美禰子 / 基常弘晃 / 本部和子 / 森俊頼 / 森口征彦 / 盛田厚 / 森田耕一郎 / 森田忠夫 / 森光徳子 / 森本育雄 / 森山堅重 / 矢田晃太郎 / 山内晴子 / 山崎千乃里 / 山田勝 / 山中道子 / 山本明 / 山本富美子 / 山本賢之 / 横尾敦夫 / 吉川郷子 / 吉田朗子 / 吉田佐智子 / 吉野明子 / 吉山富江 / 和田耕三 / 渡辺和代 / 渡部かなえ / 渡辺幸代 / 渡辺誠司 / 渡辺晴一 / 渡辺昌則

ご寄付をいただいた皆様

2002年4月1日現在 / 順不同・敬称略

三共(株) / 長谷川公子 / 北村洋子 / 海老妙子 / 會澤克夫 / 渡辺鼎 / 古根川為治 / 長澤光一 / 福島美枝子 / 福島謙爾 / 岡田美弥 / 河辺進 / 永田一郎 / 猪熊祥子 / ふれあいサポート(株) / 幾島明 / 山岸敏晃 / 下田昌子 / 山口千代子 / 榎本英壽 / 深山八重子 / 岡本洋子 / (財)日本対がん協会 / 松浦治 / 柿沢紀子 / 第一製薬(株) / 渡辺淳一 / 渥美隆之 / 白石和一郎

特定非営利活動法人(NPO)

ジャパンウエルネス Japan Wellness Community

東京都港区赤坂3-11-14 赤坂ベルゴ805 〒107-0052
電話 03-5545-1805 ファクシミリ03-5545-1806
郵便振替口座 00190-1-35152
http://www.japanwellness.jp

* 皆様にご入会時にお送りしている
会員カードの有効期限は1年間と
なりました。入会した月に更新手
続き書類をお送りいたしますので、
よろしくお願ひいたします。
* 月ごとのスケジュール表は、ホー
ムページでご覧になれます。イン
ターネットへのアクセス環境のな

い方には、ファックスサービスも
しております。ご希望の方は、事
務局までお知らせください。
なお、スケジュール表の郵送をご
希望の方は、恐縮ですが、会員番
号を明記の上、ご希望月数の送料
分切手を同封してお申し込みくだ
さい。